

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金												
事業担当	所属	財務部 財政課				所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	450274	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	116	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 特別会計への繰出金 )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	国民健康保険事業特別会計各事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険事業の健全な運営を図るための国民健康保険事業特別会計に対する繰出金。								
対象者	-				対象者数	-		単位あたりコスト	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 特別会計への繰出金 )								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	人件費、その他国民健康保険事業特別会計運営に必要な経費等に対して一般会計から繰出金として支出する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	繰出金	643,375	国民健康保険事業特別会計への繰出金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	654,691	659,340	634,901	642,311				
	② 補正予算	△ 2,876	△ 2,551	350	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	651,815	656,789	635,251	642,311					
予算財源内訳	① 一般財源	368,027	373,668	357,285	364,345				
	② 国支出金	68,687	68,429	67,873	67,873				
	③ 府支出金	215,101	214,692	210,093	210,093				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	5,800	0	0	0				
	② 配当予算	657,615	656,789	0	0				
	③ 執行額	657,615	643,375	0	0				
	④ 執行率	100.0%	98.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01/0	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	80	80	80	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	657,695	643,455	80						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国保基盤安定事業府負担金(保険料軽減分)	種類	民生費府負担金	実績金額	186,081	決算付属資料	22	頁
	特財名称	国保基盤安定事業府負担金(保険者支援分)	種類	民生費府負担金	実績金額	33,937	決算付属資料	22	頁
	特財名称	国保基盤安定事業(保険者支援分)	種類	民生費国庫負担金	実績金額	67,873	決算付属資料	16	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	【定性的評価のため入力なし】								
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	繰出金決算額	百万円	687.2/738.1	657.6/654.7	643.4 / 659.3	/ 634.9			
	単位あたりコスト		-	-	-				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	繰出を行うことにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	国民健康保険事業を円滑に運営していくため、継続します。		

## VI 他部署評価

事中事業評価	
事後事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	献血・骨髄バンク推進事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410207	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・輸血用血液製剤をはじめとする血液需要に見合う安全な血液を、将来にわたって安定的に確保するため献血の推進を図る。 ・骨髄バンク登録者の確保のための取組み。												
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 負担金交付 )												
委託先・実施主体等	福知山市献血推進協議会、NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会												
事業概要 (箇条書き)	・福知山市献血推進協議会の活動に対し負担金を交付 ・特定非営利活動法人骨髄バンクと献血の和を広げる会に補助金を交付 ・骨髄ドナー助成												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	756	福知山市献血推進協議会負担金、献血と骨髄バンクの和を広げる会活動補助金、骨髄ドナー助成金										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	336	336	336	1,176				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	336	336	336	1,176					
予算財源内訳	① 一般財源	266	266	266	896				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	70	70	70	280				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	140	420	0	0				
	② 配当予算	476	756	0	0				
	③ 執行額	476	756	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	1,040	1,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,596	1,796	1,040					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	骨髄ドナー助成事業補助金	種類	衛生費費補助金	実績金額	280	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間採血者数	人	3824 / 4200	3712 / 4000	3890 / 4000	/ 4000	/ 4000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	移動採血車により献血を実施	日	56/59	57/55	57 / 55	/ 58	60
	単位あたりコスト		6.07	8.35	13.26		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	人工的に製造できない血液・骨髄等の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与、普及啓発は妥当と考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	赤十字血液センター、骨髄バンクボランティアと連携し、献血協力団体・会場・ボランティア調整を役割分担し実施しており効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	献血協力団体と連携しボランティアによる献血活動の協力により事業が実施でき、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	人工的に製造できない血液・骨髄等の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与、普及啓発が必要と考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	献血者数が減少している中、安心安全なまちづくりのため、血液需要に見合う血液を安定的に確保する。 ○重点項目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な集団献血の確保</li> <li>・複数回献血の増加</li> <li>・若年層の献血者数の増加</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度は、新たに「福知山市献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を9月13日に開催された献血と骨髄バンクのための市民大会の中で行った。 今後は、企業と献血と骨髄バンクの支援に係る協定の締結や市民大会を継続して行うことにより、さらに献血と骨髄バンク支援を広げていく。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合    (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合    (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	保健衛生一般経費事業(健康医療課)												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410301	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	なし												

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	円滑な健康推進事業の推進								
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	㈱ケーケーシー情報システム 事業運営に係る一般庁用経費、総合健康管理システム経費、各種研修経費及び賠償保険料								
事業概要(箇条書き)	本事業は、予防費一般経費事業、保健指導費一般経費事業、保健福祉事業賠償保険事業、予防接種賠償保険事業及び総合健康管理システム事業を平成29年度に統合								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	1,712	臨時職員賃金						
	旅費	300	各種研修会参加旅費						
	需用費・役務費	882	庁用事務用消耗品費、印刷製本費、郵送料 他						
	委託料・使用料及び賃借料	7,854	総合健康管理システム管理費、総合健康管理システム賃借料 他						
	負担金補助及び交付金	28	各種研修会・協議会負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,989	13,924	4,028	4,521				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	7,989	13,924	4,028	4,521					
予算財源内訳	① 一般財源	7,868	13,586	3,863	4,521				
	② 国支出金	121	338	165	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	1,585	842	0	0				
	② 配当予算	9,574	14,766	0	0				
	③ 執行額	9,356	10,776	0	0				
	④ 執行率	97.7%	73.0%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.42/0	0.39 / 0.00	0.39 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,360	3,120	3,120	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	12,716	13,896	3,120						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	63	決算付属資料	18	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	一般庁用経費のためなし	-	/	/	/	/	/			
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	一般庁用経費のためなし	-	/	/	/	/	/			
	単位あたりコスト									
	単位あたりコスト		/	/	/	/	/			
	単位あたりコスト									

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	市民の適切な健康推進のための事業として効率的な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	市民の適切な健康推進を進めるに当たって、有効的な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	一般庁用経費。円滑に健康推進事業を推進できたと考える。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高め、日々の業務を遂行していく。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	主に一般庁用経費である。最小の経費で最大の効果が得られるよう努める。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合    (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合    (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	予防接種健康被害対策事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410311	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	昭和57年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	予防接種法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・予防接種法第11条の規定による予防接種健康被害認定者に予防接種救済給付[障害年金・医療費・医療手当]を行う。 ・予防接種健康被害発生に際し、調査委員会を設置し、医学的見地から調査を行う。 ・認定者に障害年金等を支給することで、健康被害に対する救済措置を行う。												
対象者	予防接種健康被害認定者	対象者数	2	単位あたりコスト	1,836.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・予防接種健康被害にかかる障害年金・医療費・医療手当支給 ・市が行う予防接種において、予防接種法及び結核予防法の規定に基づく健康被害の発生に際し、設置する調査委員会にかかる経費												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	扶助費	3,193	予防接種健康被害障害年金及び医療費・医療手当										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,999	3,014	3,293	3,341				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	2,999	3,014	3,293	3,341					
予算財源内訳	① 一般財源	768	773	842	854				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,231	2,241	2,451	2,487				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	556	204	0	0				
	② 配当予算	3,555	3,218	0	0				
	③ 執行額	3,531	3,193	0	0				
	④ 執行率	99.3%	99.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06/0	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	480	480	480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,011	3,673	480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	予防接種事故対策事業	種類	衛生費費補助金	実績金額	2,394	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		救済給付事業のためなし	-	0	0	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	調査委員会開催回数	回	1	0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		0.00	0.00			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	



## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	予防接種による健康被害を救済するのに必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	予防接種法及び規則等に基づく給付により、健康被害に対する救済措置を行うことは効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	予防接種による健康被害に対して救済給付することは有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	予防接種による健康被害に対しての救済給付である。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	予防接種による健康被害に対して救済給付であり、継続が必要である。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	予防接種による健康被害に対しての救済給付であり、今後も継続して給付していく。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合              (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合              (統合先事業名: )
--------	---



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	保健福祉センター維持管理事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410313	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146・148	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を推進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	146・148							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	円滑な健康推進事業の推進に向けて保健福祉センターを継続して維持管理していく												
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	三精テクノロジーズ(株) 姫路ナブコ(株) (社)福知山市シルバー人材センター 大槻冷熱設備(有) (株)西日本エスエスシー 大山産業(株)												
事業概要 (箇条書き)	保健福祉センター(中央・東部・西部・北部)の施設修繕、機械設備等保守点検業務等、施設の維持管理に要する経費 本事業は、平成28年度事業の旧中央保健福祉センター維持管理及び保健福祉センター維持管理(ハビネス・東部・西部・北部)を統合												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	2,243	光熱水費、施設修繕料 他										
	役務費	275	建物共済、電話料 他										
	委託料	1,080	清掃業務、エレベータ保守点検、消防設備点検、自動扉点検 他										
	使用料及び賃借料	7	モップ使用料										
	負担金補助及び交付金	6	協会負担金										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,803	3,670	3,658	3,888				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①～③)	3,803	3,670	3,658	3,888				
予算財源内訳	① 一般財源	3,796	3,454	3,486	3,604				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	7	216	172	284				
決算情報	① 流充用額	1,080	△ 55	0	0				
	② 配当予算	4,883	3,615	0	0				
	③ 執行額	4,701	3,611	0	0				
	④ 執行率	96.3%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.29/0	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,320	2,560	2,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,021	6,171	2,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	衛生使用料	実績金額	10	決算付属資料	10	頁
	特財名称	北部保健福祉センター光熱水費	種類	雑入	実績金額	268	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		一般維持管理経費のためなし	—	0	0	0	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		一般維持管理経費のためなし	—	0	0	0	/	
		単位あたりコスト		/	/	/	/	
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	適切な施設維持管理を行うための事業として効率的な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	施設を維持管理していく上で、本事業は有効的な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	一般庁用経費。適切な施設維持管理ができたと考える。(定性的評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	適切な施設維持管理を行うため、必要最低限の庶務的経費は必要。最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。平成31年度より、ハビネスふくちやまの建物管理一式は人権推進室の所管となった。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 (統合事業名:	<input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 )	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:	)
--------	--	---	---	--	----------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	インフルエンザ予防接種事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410319	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	148	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	予防接種法、福知山市高齢者インフルエンザ予防接種事業実施要綱、福知山市障害のある人のためのインフルエンザ予防接種実施要綱												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高齢者やリスクの高い障害者が罹患すると重症化しやすいインフルエンザについてワクチン接種をすることで、インフルエンザの発症、重症化を防止し、社会的な流行を防ぐ。												
対象者	接種日において65歳以上の市民及び64歳以下で障害のある人	対象者数	23,858	単位あたりコスト	2.7								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	京都府医師会・福知山医師会他												

事業概要 (箇条書き)	・実施方法:委託医療機関でインフルエンザワクチンの予防接種をうける。 ・対象者:満65歳以上の高齢者と60～64歳で心臓、じん臓、呼吸器、HIV感染による免疫機能障害の身体障害者手帳1級保持者(23,100人)及び満64歳以下で身体障害者手帳1級・2級及び療育手帳A保持者(758人) ・自己負担金 1,500円(ただし、生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料) ・実施期間:令和元年11月1日～令和2年1月31日												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	賃金(臨時職員)	512	臨時職員の無料申請の窓口対応及び事務処理									
	需用費(紙代・印刷代)	433	消耗品費(紙) 印刷代(各戸配布文書 接種済証 封筒)									
	役務費(郵送料 事務手数料)	103	対象者(障害のある人)及び無料申請者への発送の郵送料 国保連合会の事務手数料									
	委託料	55,099	インフルエンザ予防接種事業委託料									
	扶助費	88	自己負担金の償還払い									

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	53,055	53,090	54,436	60,009
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	53,055	53,090	54,436	60,009	
予算財源内訳	① 一般財源	53,055	53,090	54,436	60,009
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	236	3,201	0	0
	② 配当予算	53,291	56,291	0	0
	③ 執行額	53,291	56,236	0	0
	④ 執行率	100.0%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.39/0.22	1.05 / 0.08	1.05 / 0.08	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	11,670	8,600	8,600	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	64,961	64,836	8,600		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		インフルエンザ死亡者数	人	2/0	3/0	未確定 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	接種率(高齢者)	%	55.0/100	56.3/100	58.2 / 100	/ 100	100
		単位あたりコスト	945.58	946.55	966.25		
	接種率(障害のある人)	%	72.1/100	72.1/100	72.7 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト	721.32	739.13	773.53			

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者インフルエンザ予防接種は法定上の業務である。2018年はインフルエンザが原因で死亡した人は3,000人を超えている(厚生労働省統計)。特に、高齢者・障害のある人はリスクが高く重症化しやすいため、社会的な流行を防ぐためにも必要である。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は定期のB類疾病、障害のある人は任意の予防接種であるため、一定の接種者負担は妥当であると考え。インフルエンザワクチン代相当。</li> <li>・ホームページ内容の充実や理解しやすい書類の工夫で、事業の効率化を図る。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標については、統計情報がタイムリーに収集できないので、項目として妥当かどうか判断がつきにくい。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接種者数:高齢者13,441人 障害のある人551人</li> <li>・令和元年度の接種率は、高齢者が58.2%、障害のある人が72.7%である。高齢者インフルエンザ予防接種事業は法定上の事業であり、今後も継続していく。障害者についてもリスクが高く重症化しやすいため、インフルエンザの発症や重症化を防止し、社会的な流行を防ぐために実施する。現在、インフルエンザ起因による死亡者が急増していないので、一定の評価としたい。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定上の業務であるため、今後も継続して出来る限り対象者への周知を図っていく。成果目標については、統計情報がタイムリーに収集できないため、項目として妥当かどうか判断がつきにくい。また、B類疾病の予防接種なので、接種率を出すべきかどうか判断しにくい。</li> <li>・無料申請手続きについては、マイナンバーや本人確認書類が必要になるため、窓口が混雑することが課題である。また、その後の事務処理も多い。接種者数は増加しているため、円滑な確認作業や申請書の工夫など、事務作業の効率化を目指す必要がある。</li> <li>・障害のある人では、今後も継続して障害者福祉課に協力を得ていく。しかし、本市で手帳を発行した人しか把握できないため、本市に住民票はあるが他市で交付された人の正確な数を把握できず、個別案内ができていない。現在は、施設からの申請と本人や家族からの申請にて対応している。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	健康危機管理対策事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410323	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	148	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	食中毒・新型インフルエンザ・感染症その他の原因による健康被害の発生予防・拡大を防止し、健康危機に対する住民の不安を解消し、生命・健康の安心・安全確保を図る。												
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	福知山市衛生協会												
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害の情報の収集・提供</li> <li>関係機関との連絡調整</li> <li>市民、関係事業者等に対する広報・啓発</li> <li>福知山市衛生協会の事業支援</li> </ul>												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	110	消耗品費										
	負担金補助及び交付金	153	福知山市衛生協会事業補助金										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	318	235	235	558	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	318	235	235	558		
予算財源内訳	① 一般財源	318	235	235	558	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 64	28	0	0	
	② 配当予算	254	263	0	0	
	③ 執行額	254	263	0	0	
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,040	1,840	1,840	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,294	2,103	1,840			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		集団食中毒発生件数	件	0/0	0/0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	食中毒注意報発令件数	件	4/4	8/4	7 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		95.75	31.75	37.50		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	熱中症、感染症等市民の生命に影響する健康被害に関する予防、社会維持活動等の対策に必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	健康被害発生時には各部署及び京都府、民間等との連携が必要であり組織的対応は効率的である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	健康被害に関する対策として有効性の高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	健康被害の発生予防・拡大を防止し、健康危機に対する住民の不安を解消し、生命・健康の安心・安全確保を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	衛生協会への支援については、運営費補助から事業費に対する補助の形に変更した。安心・安全なまちづくりを進めていくため、今後とも継続して事業を実施していく。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合              (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合              (統合先事業名: )
--------	---



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410378	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	150	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成26(2014)		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	予防接種法・福知山市高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	なし												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	肺炎は、日本人の死因の第3位であり、死亡者の95%以上が、65歳以上の高齢者で、肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌である。肺炎球菌ワクチンを接種することにより、肺炎の予防・重症化を防ぐことを目的とする。													
対象者	65・70・75・80・85・90・95・100・100歳以上の市民で、予防接種未接種かつ接種を希望している者										対象者数	3,227	単位あたりコスト	3.4
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )													
委託先・実施主体等	京都府医師会・福知山医師会 他													
事業概要 (簡潔書き)	【実施方法】委託医療機関で肺炎球菌ワクチンを接種する。 【対象者】上記対象者のほか、60歳から65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、または免疫の障害をもつ身体障害者手帳1級保持者(30人) 【自己負担金】4,000円(生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料) 【実施期間】令和元年4月1日～令和2年3月31日 (予防接種施行令の改正により、令和6年3月31日まで制度の延長)													

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	需用費	35	予診票用紙代、印刷他									
	役務費	244	郵送料、国保連合会の事務手数料									
	委託料	3,179	予防接種業務委託									
	扶助費	8	自己負担金の償還払い費用									

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	10,184	4,511	4,075	4,848	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	10,184	4,511	4,075	4,848		
予算財源内訳	① 一般財源	10,184	4,511	4,075	4,848	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 49	△ 1,018	0	0	
	② 配当予算	10,135	3,493	0	0	
	③ 執行額	10,110	3,465	0	0	
	④ 執行率	99.8%	99.2%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.94/0.45	0.92 / 0.06	0.92 / 0.06	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	8,645	7,510	7,510	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,755	10,975	7,510			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		肺炎での死亡者数(市)	人	75(H28)	42(H29)	48(H30)	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	接種者数	人	2103	2064	662 / 719	/ 719	719
	単位あたりコスト		5.19	4.90	5.23		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	



## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種は法令上の業務である。肺炎は、日本における死因の第3位であり、特に、高齢者で基礎疾患がある人はリスクが高いため、肺炎予防の一つの方法として必要な手段である。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の肺炎球菌感染症は定期予防接種対象疾患のB類疾病であり、一定の接種者負担は妥当であると考えられる。ワクチン代相当。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標については、統計情報がタイムリーに収集できないので、項目として妥当かどうか判断がつきにくい。</li> <li>・過去接種の有無は、接種者自身の申告でないと分からない部分もあるため、接種率との妥当性を、正しく把握できない点が課題。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者肺炎球菌予防接種は、法令上の業務であるため、令和5年度までは継続。(H26開始)</li> <li>・福知山市における肺炎での死亡数が、上昇していないことから、一定の評価としていきたい。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度から、令和5年度までは、新規の対象となる65歳と、再勧奨の対象となる70・75・80・85・90・95・100歳は、定期接種として事業を継続していく。(予防接種法の改正により、事業延長が確定。)</li> <li>・接種対象者が、高齢者が多いため、制度の理解が難しい人も多い。定期接種の対象となる人に、分かりやすく利用してもらえるよう、個別通知など工夫していく。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	成人保健事業													
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔						
会計情報	事業コード	410326	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁	
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する										
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	健康増進法・福知山市健康教育実施要領・福知山市健康手帳交付事業交付要綱・機能訓練事業実施要領・国民の健康づくり地方推進事業実施要綱													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業														

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	健康の保持増進のための知識の普及・情報提供・相談対応等により市民を支援し、市民自らが健康管理・疾病予防や健康づくりに取り組んでいくことを目的とする													
対象者	概ね20歳以上の市民(但し、業務によっては40～65歳未満の市民)										対象者数	40,000	単位あたりコスト	0.6
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )													
委託先・実施主体等														

事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康手帳交付：健康の保持増進のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるよう支援。</li> <li>健康教育：福知山市民及び家族を対象に疾病・生活習慣病予防のための教室を開催する。(市が企画・運営する健康教育については、40～65歳未満を対象とする。)</li> <li>健康相談：各保健福祉センター及び公民館等で健康に関する相談に応じ、助言を行う。</li> <li>訪問指導：専門職が家庭を訪問し、健康に関する指導及び助言を行う。</li> <li>機能訓練事業：40～65歳未満の心身の機能障害や低下が危惧される人に対し、個人の課題に沿った体操や療法士による個別体操の指導や助言を行ったり、全員でレクリエーション等を行う。(S62年度開始)</li> </ul>												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	報償費	278	健康教室・健康相談講師謝礼 食生活改善推進員謝礼									
	需用費・備品購入費	937	事業に係る消耗品、印刷製本費、公用車の維持管理経費、備品購入費									
	役務費	278	郵送料、公用車の維持管理経費									
	負担金補助及び交付金	425	理学療法士等派遣に対する市民病院への負担金									
	賃金・旅費・使用料及び賃借料・公課費	2,108	臨時職員賃金 講師招へい旅費 公用車リース、公用車の維持管理経費									

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,233	4,485	4,428	4,527				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	5,233	4,485	4,428	4,527					
予算財源内訳	① 一般財源	4,494	3,531	3,706	3,805				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	739	722	722	722				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	232	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	5,233	4,485	0	0				
	③ 執行額	4,312	4,025	0	0				
	④ 執行率	82.4%	89.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	2.52/1	2.50 / 0.71	2.50 / 0.71	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	22,660	21,775	21,775	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	26,972	25,800	21,775						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	健康増進事業補助金	種類	衛生費費補助金	実績金額	717	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	40～64歳の健康教室参加率	%		20.0 / 25	19.8 / 25	19.1 / 25	/ 25
40～64歳のがん検診精密検査者の精密検査受診率	%		85.1 / 100	91.6 / 100	86.2 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	健康手帳交付数	冊	219 / 300	246 / 300	240 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		18.45	17.53	18.53		
	健康相談被指導延人数	人	1942 / 2500	1950 / 2500	1927 / 2500	/ 2500	2500
単位あたりコスト		2.08	2.21	3.21			

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康手帳の交付、健康相談、健康教育、訪問指導は、市民の健康増進を目的とする健康増進法に基づく業務で、行政サービスとしての市民ニーズもある。</li> <li>機能訓練は市独自事業であるが、法令事業の狭間にある年齢層を対象とした取組みが民間実施に広がっていないことから、引続きの実施が必要。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康手帳の交付方法については、高齢の利用者が多い中、データをダウンロードしての交付に比較してノート型の手帳の交付のほうが低コストであることから、当面は現行の交付方法が妥当と判断。</li> <li>健康教育については、実施対象の年齢層の参加が増えるように工夫した。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育や機能訓練については、事業実績を集計するとともに、アンケート等により質的な変化を把握して評価に役立っている。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、事業棚卸の指摘を受け、本事業の目標や成果指標を下記のとおり設定し、事業を行った。            目標：40～64歳の利用者を増やす。 40～64歳市民の行動変容を推察する数値を把握            【健康教室】健康増進事業としての健康教育は、ターゲットとする40～65歳未満の対象者が参加しやすいように、対象年齢を下げて健康教育を実施するとともに、40～64歳が利用しやすい条件を整える。 成果指標：40～64歳の受講率            【健康相談・訪問指導】定例健康相談や健（検）診結果返しにおいて40～64歳の利用者の行動変容に結びつく相談・指導に努める。 成果指標：①健（検）診40～64歳受診者数・②40～64歳のがん検診精密検査者の精密検査受診率・③定例健康相談40～64歳の利用率            ・健康教育は、目標とする25%を達成。 健診受診者数は3,116人(H30 3,101人)に増加、がん検診精密検査受診率は2月末現在82.4%と高くなっている。            ・一方、健康相談のうち定例健康相談の40～65歳未満の利用率は9.6%と低く、高齢者の利用が多い。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、市民が疾病予防・健康増進に関する知識を身につけ、健康管理ができるよう支援するために、健康手帳の交付、訪問指導、健康相談、健康教室、機能訓練教室を実施するものである。市民が本事業を利用することが、市民自らが健康管理・疾病予防や健康づくりに取り組んでいることを示すものであるため、事業の利用総数の増加に取り組んでいきたい。</li> <li>また、特に40～64歳の若い世代からの利用を促し、高齢期に至っても継続的に支援しながら健康寿命の延伸をはかっていきたい。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本事業のそれぞれの業務は、健康増進法に基づき実施している。 市民の健康増進を図ることを目的とし、令和3年度も継続して実施する。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	前立腺がん検診事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410329	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	がん対策基本法、福知山市がん検診等事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	なし												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。								
対象者	50歳以上の市民(男性)	対象者数	8,221	単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都予防医学センター								
事業概要 (箇条書き)	実施方法 問診・血液検査(前立腺特異抗原:PSA値) 【集団】保健福祉センターや地域公民館(6~10月:事前申し込み制) 【個別】市内の委託医療機関(5~11月) 検診自己負担金:200円(無料制度あり)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費(紙代、ガソリン代、印刷製本費)		27	検診・結果返却、精密検査受診勧奨の案内、受診票(個別検診)の印刷					
	役務費(郵送料)		5	検診案内・結果返却、精密検査受診勧奨の案内発送					
	委託料(集団・個別検診の業務委託)		2,732	集団・個別検診での血液検査(PSA)の実施					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,704	2,734	2,867	3,155				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,704	2,734	2,867	3,155					
予算財源内訳	① 一般財源	2,692	2,722	2,855	3,143				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	12	12	12	12				
決算情報	① 流充用額	91	49	0	0				
	② 配当予算	2,795	2,783	0	0				
	③ 執行額	2,795	2,764	0	0				
	④ 執行率	100.0%	99.3%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.35/0.05	0.53 / 0.08	0.53 / 0.08	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,925	4,440	4,440	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,720	7,204	4,440						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	前立腺がん検診自己負担金	種類	雑入	実績金額	11	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	がん発見人数	人	7/12	10/12	9 / 12	/ 12	12		
	要精密検査受診率	%	69.5/100	70.5/100	89.2 / 100	/ 100	100		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	受診者数	人	1831/1792	1728/1800	1763 / 1800	/ 1817	1817		
	単位あたりコスト		1.56	1.60	1.57				
	検診受診率	%	22.3/21.8	21.0/21.9	21.4 / 21.9	/ 22.1	22.1		
	単位あたりコスト		128.34	133.14	129.18				

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい知識の普及啓発を含めた受診啓発を行うことで、市民自らが健康に関する意識を高め、検診受診により前立腺がんの早期発見・早期治療につながる。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団検診と個別検診を実施し、土日検診の実施や集団検診の希望者には送迎を行い、1日で全ての検診が受診できる日を設定している。</li> <li>費用負担は委託料の割に設定し、妥当である。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診を受診し、前立腺がんの早期発見・早期治療を行うことで、医療費の削減へつながる。</li> <li>受診者数は、平成30年度より増加しており、受診率は20%を維持できている。</li> <li>精密検査受診率は、受診勧奨方法を工夫し、精検受診率向上に努める。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>健康日本21および福知山市健康増進計画において、【健(検)診】を掲げ、受診率向上のために、イベントを活用したり事業所へ啓発を行うなど、受診機会の呼びかけを行なった。また、実施体制としても、様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすいよう工夫している。</p> <p>また、毎年前立腺がんが発見され、早期発見・早期治療につながり、医療費の削減に繋がっているため、一定の評価はできる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>【検診受診率について】 血液検査で受けられるため、がん検診としては受診しやすく、福知山市のがん検診の中では受診率は高い。</p> <p>【がん検診としての有効性について】 がん発見率も高く、早期に治療につなげられることがメリットであるが、すぐに生命予後に影響するがんではない場合も多いと指摘もある。国が推奨するがん検診からも外れており、今後は国や京都府の動向も確認しながら廃止も視野に入れた検討をしていくべき検診である。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	胃がん検診事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410330	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	昭和37(1962)	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	なし												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。平成20～24年度の福知山市における胃がん標準化死亡比は男性92.7、女性76.2と全国より低い水準にある。啓発を含めたがん検診事業を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、死亡率が低い水準を維持する。												
対象者	40歳以上の市民		胃血液検査は30・35歳の市民も対象	対象者数	25,053		単位あたりコスト	0.5					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、福知山医師会												

事業概要 (箇条書き)	【実施方法】集団検診として実施 ①X線間接撮影 ②血液検査 【検査方法】①X線間接撮影：直接胃がんを発見する方法 ②血液検査(ペプシノゲン、ヘリコバクターピロリ)：胃がんの発生と密接な関係を持っている萎縮性胃炎を判定する方法(平成19年度から導入開始) 【自己負担金】500円(無料制度あり)												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	需用費(紙代、ガソリン代、印刷製本費)	58	結果返却、精密検査受診勧奨用封筒の購入 他									
役務費(郵送料)	513	精密検査連絡票の返信用郵送費及び受診勧奨通知郵送費										
委託料(集団検診の業者委託料)	4,931	レントゲン車を配車し、バリウムを飲んで撮影または血液検査										
使用料及び賃借料	49	送迎制度のタクシー使用料、西部・東部検診会場の会場借用料										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,750	6,064	8,376	8,249				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	5,750	6,064	8,376	8,249					
予算財源内訳	① 一般財源	4,824	5,239	7,626	7,954				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	611	475	475	20				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	315	350	275	275				
決算情報	① 流充用額	233	0	0	0				
	② 配当予算	5,983	6,064	0	0				
	③ 執行額	5,983	5,551	0	0				
	④ 執行率	100.0%	91.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.72/0.04	0.94 / 0.06	0.94 / 0.06	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,860	7,670	7,670	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,843	13,221	7,670						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	44	決算付属資料	26	頁
	特財名称	胃がん予防事業費補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	422	決算付属資料	26	頁
	特財名称	胃がん検診自己負担金	種類	雑入	実績金額	358	決算付属資料	44	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	がん発見人数	人	1/2	2/2	1 / 2	/	2	2
要精密検査受診率	%	85.2/100	87.1/100	83.6 / 100	/	100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	受診者数	人	1,014/1,105	1,093/1,106	993 / 1106	/	1106	1106
	単位あたりコスト		5.41	5.47	5.59			
	検診受診率	%	4.0/4.4	4.4/4.4	3.96 / 4.4	/	4.4	4.4
単位あたりコスト		1370.50	1360.00	1401.86				

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	胃がん検診及び受診啓発をすることで、市民自らが健康に対する意識を高め、検診受診により胃がんの早期発見・早期治療に繋がる。これらは市民にとって健康で自立した生活を送るために必要不可欠な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすいよう工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	胃がん検診を受け、早期発見・早期治療は市民にとっても健康で自立した生活に繋がり、本市にとって医療費削減となるため、がん発見人数、精密検査受診率を成果実績として掲げることは妥当である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福知山市健康増進計画において、【健(検)診】を重点項目の1つとして掲げている。胃がん検診の受診率向上のために、イベント時や各事業所へ受診啓発を行うなどしている。また、実施方法としても、様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすいよう工夫している。</p> <p>また、毎年胃がんが発見され、早期発見・早期治療につながり、医療費の削減に繋がっているため、一定の評価はできる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>厚生労働省の第27回がん検診のあり方に関する検討会より、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が示され、胃がん検診は「50歳以上の対象者で2年に1回のX線間接撮影法または内視鏡検査」を推奨している。この指針に合わせ、令和2年度から、対象者を50歳以上の年度末年齢が偶数の市民とし、X線間接撮影法に加え、内視鏡検査を導入する。また、血液検査は、若い世代のピロリ菌感染を早期発見・治療することで、将来の胃がん発症リスク低下を期待するため、令和2年度から対象者に20・25歳を加えた。内視鏡検査の導入に伴い、X線間接撮影法の対象者も50歳以上に変更するため、50歳以上を対象者から除き、それらの検診対象となる前の45歳以上は毎年対象とする。ただし、血液検査は複数回受診しても結果が変わることはほぼないため、生涯1回へ変更する。</p> <p>また、令和2年度は協会けんぽとの協定締結が予定されており、協会けんぽとの連携で、さらなる胃がん検診受診率の向上を目指す。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名: )



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	大腸がん検診事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410331	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成5(1993)	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。												
対象者	40歳以上の市民	対象者数	23,391	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	福知山医師会・京都予防医学センター												
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】問診・免疫便潜血2日法(ヘモテクト) 【集団】保健福祉センターや地域公民館(6~10月) 【個別】市内の委託医療機関(5~11月) 【自己負担金】300円(無料制度あり)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金(臨時職員)	374	検診の結果入力事務 説明書の印刷事務										
	需用費(紙代、印刷代)	40	検診の説明書の紙代 受診票印刷代 結果発送用封筒代										
	役務費(郵送料)	96	集団検診の申込者の案内 精密検査結果連絡 精密検査未受診勧奨通知の郵送代										
	委託料	3,134	集団検診(検診業者への支払い)・個別検診(医療機関への支払い)										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,841	3,558	3,607	4,015				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①~③)	3,841	3,558	3,607	4,015				
予算財源内訳	① 一般財源	3,729	3,437	3,487	3,894				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	13	22	21	22				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	99	99	99	99				
決算情報	① 流充用額	0	166	0	0				
	② 配当予算	3,841	3,724	0	0				
	③ 執行額	3,441	3,645	0	0				
	④ 執行率	89.6%	97.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.55/0.05	0.45 / 0.40	0.45 / 0.40	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,525	4,600	4,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,966	8,245	4,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	114	決算付属資料	18	頁
	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	19	決算付属資料	26	頁
	特財名称	大腸がん検診自己負担金	種類	雑入	実績金額	92	決算付属資料	44	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	がん発見人数	人	21/12	10/12	10 / 12	/	12	12
要精密検査受診率	%	81.6/100	82.4/100	87.3 / 100	/	100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	受診者数	人	3414/3462	3208/3462	3359 / 3462	/	3462	3462
	単位あたりコスト		1.10	1.10	1.09			
	検診受診率	%	14.6/14.8	13.7/14.8	14.4 / 14.8	/	14.8	14.8
	単位あたりコスト		251.71	251.24	253.10			

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	・検診受診啓発をすることで市民自らが、健康に関する意識を高め、大腸がんの早期発見・早期治療につながる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	・個別検診の委託料の平均の約1割と設定している。 ・集団検診と個別検診(医療機関)で実施しており、受診者が選択できるような体制をとっている。また休日にも受診できる体制をとっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	・検診を受け、早期発見・早期治療に努めることで医療費減につながる。活動実績については、受診者数が減少傾向で、受診率は、目標に達成していない。また、精密検査受診率の目標見込みも達成していないが、電話や個別通知などの対応で受診率向上に努めている。また、京都府を通して国立がん研究センターの推奨するナッジ理論を使用した未受診勧奨も行ったことで精密検査受診率が上昇した。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>・毎年がん発見者があり、特に早期がんの人の割合が多く、一定の評価が出来るといえる。受診率を増やすよう、休日に実施をしたり、いろいろな検診が一度で受けられるような集団検診の実施や協会けんぽとの連携をおこなっている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>・今後も受診者数の増加(受診率の上昇)を目指し、がんの早期発見・早期治療につなげ、医療費削減並びにがん死者数の減少に努める。大腸がん検診は継続して受診することが大切である。イベント会場などのより多くの市民が集まる場所で啓発活動をしたり、広報やLINEなどを用いながら受診勧奨を行う。また、検診受診だけでなく、精密検査受診率が上がるような取り組みが必要。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合    (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合    (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	肺がん・結核検診事業									
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔		
会計情報	事業コード	410332	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計 決算付属資料 154 頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する						
計画期間	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律									
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 府・他市協調実施 )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	肺がんは、日本人のがんによる死亡数の第1位である。肺がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、肺がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。また、感染症である結核のハイリスク者層(高齢者)に結核検診を同時に実施することにより、結核の早期発見、蔓延防止につなげる。									
対象者	40歳以上の市民	対象者数	23,391	単位あたりコスト	0.5					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
委託先・実施主体等	京都予防医学センター・京都府医師会									
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】問診・胸部X線デジタル撮影 保健福祉センターや地域公民館(6~10月):予約制 巡回検診:予約なし 【自己負担金】無料 *但し、喀痰検査500円(無料制度あり)									

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	需用費	55	喀痰容器代、説明用紙・結果票用紙代、巡回検診広報車ガソリン代
役務費	194	検診結果郵送料	
委託料	7,008	がん検診業務委託料	

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,353	8,303	8,032	8,570				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①~③)	8,353	8,303	8,032	8,570				
予算財源内訳	① 一般財源	8,323	8,265	7,998	8,536				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	10	18	14	14				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	20	20	20	20				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	8,353	8,303	0	0				
	③ 執行額	7,764	7,257	0	0				
	④ 執行率	92.9%	87.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.47/0.42	0.59 / 0.35	0.59 / 0.35	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,810	5,595	5,595	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,574	12,852	5,595					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	種類	衛生費費補助金	実績金額	13	決算付属資料	26	頁
	特財名称	肺がん検診(喀たん)自己負担金	種類	雑入	実績金額	14	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	がん発見人数	人	1/2	0.5	2 / 2	/ 2	2
要精密検査受診率	%	92.4/100	98.0/100	93.7 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	受診者数	人	2064/2269	1985/2269	1929 / 2269	/ 2269	2269
	単位あたりコスト		4.02	3.90	3.76		
	受診率	%	8.8/9.7	8.5/9.7	8.2 / 9.7	/ 9.7	9.7
	単位あたりコスト		943.52	913.41	884.96		

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	正しい知識の普及を含めた検診受診啓発をすることで、市民自らが、健康に関する意識を高め、自立した生活を送るために、必要な事業である。結核感染症まん延防止の点からも重要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	土日の検診実施、協会けんぽやローソンとの連携、予約なしで受けられる地域の公民館等での巡回検診実施、他健(検)診とセットで受けられるなど、受診しやすい体制をとっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	検診を受け、早期発見・早期治療することは、市民にとって健康で自立した生活につながり、本市にとっても医療費削減となる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>毎年がんが見つかり、R1年度は2人のがんが見つかり、対象者の治療後の生活を考えると有益であり、本市にとっても医療費の削減につながっている。</p> <p>受診者数や精密検査受診者数は目標に達しなかった。受診者数が減ったのは、検診実施日が減り、それに合わせて会場数も減少していることが要因と考えられる。精密検査になった人には、面接で結果や精密検査の受診方法を説明しており、精密検査受診率は93.7%である。精密検査未受診者には、受診してもらえよう、再度連絡し、あきらめずに対応していく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>地域での巡回検診では高齢化により受診者数が年々減っている会場がある。新規受診者が増えるよう、地域での広報に加えてホームページやラインを活用する。また、受診者数1日最低保障100人を確保できるよう、検診日程や当日の検診の運営方法を調整していきたい。精密検査受診率の目標達成に向けて、面接での結果返却を継続し、受診の必要性を理解してもらえよう説明を工夫していく。</p> <p>厚生労働省より、高齢者における結核発病患者の早期発見対策のために、80歳以上に特に重点を置いて結核検診を実施することがあげられている。交通手段のない人も受診しやすいよう、自治会の協力を得ながら、地域巡回検診を継続する。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>・肺がん検診は「がん対策基本法」、結核検診は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき実施している。毎年がんが発見されており、治療後の生活の質の維持、医療費の削減につながっている。</p> <p>・肺がん検診は集団で実施しており、集団検診実施日数が年々減少するに従い、受診者数も減少している。しかし、厚生労働省より、高齢者の結核の早期発見のために、80歳以上に特に重点を置いて、結核検診を実施することがあげられているため、交通手段のない人も受診しやすいよう、地域の公民館への巡回を継続する。したがって、R3年度もR2年度の同様の受診者数を見込んでいる。</p> <p>・京都府医師会より、肺がん検診実施におけるデジタル読影機器のシステム更新のため、委託料が増額する通知があり、次年度委託料が増額するため、予算も増額している。</p>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	成人健康診査事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410357	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	—							
根拠法令等	健康増進法、福知山市健康診査事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	—												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	30歳代の若い世代及び生活保護受給者に対し、健診の機会を保障することにより、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病を早期に発見し、食事・運動・禁煙など生活習慣改善をはかり、疾病を未然に防ぐことを目的とする。														
対象者	30歳代の若い世代及び40歳以上の生活保護受給者(無保険者)											対象者数	1,973	単位あたりコスト	3.2
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )														
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都予防医学センター														
事業概要 (箇条書き)	(実施方法) 集団：各保健福祉センターや地域公民館で実施(6～10月) 個別：市内の委託医療機関(5～11月) (健診内容) 問診・身体計測・医師の診察・血圧測定・検尿・血液検査・心電図・結果説明 (自己負担) 生活習慣病予防健診：1000円 *無料制度あり 無保険者健診：無料														
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容												
	賃金(臨時職員)	61	説明書等印刷事務												
	需用費	39	結果票用紙代 他												
	役務費(郵送料)	5	問診票等郵送代												
	委託料	1,571	集団健診(健診業者への支払い)・個別健診(医療機関への支払い)												

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,888	1,883	782	782				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,888	1,883	782	782					
予算財源内訳	① 一般財源	1,614	1,599	458	424				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	234	239	324	358				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	40	45	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,888	1,883	0	0				
	③ 執行額	1,780	1,675	0	0				
	④ 執行率	94.3%	89.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.51/0.03	0.55 / 0.06	0.55 / 0.06	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,155	4,550	4,550	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,935	6,225	4,550						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	健康増進事業補助金	種類	衛生費補助金	実績金額	225	決算付属資料	26	頁
	特財名称	生活習慣病予防健診自己負担金	種類	雑入	実績金額	40	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	受診者数	人	182/179	161/170	149 / 170	/ 60	60
要医療者受診率(集団健診)	%	58.3/60	50/60	43.8 / 60	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	委託医療機関数	件	34/34	34/34	34 / 34	/ 34	34
	単位あたりコスト		58.56	52.40	49.27	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	



## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	30歳代の若い世代及び生活保護受給者に対し、健診の機会を保障することにより、市民自らが健康に対する意識を高め、疾病の早期発見・早期治療を行い、医療費の削減に繋がる。これは市民にとって健康で生活をするために必要不可欠な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	様々な検診が一度で受診できる集団健診や個別健診(指定医療機関)を行い、受診者が受診方法を選択できる体制づくりを工夫している。新規または継続受診者を増やすため、他のがん検診の個別勧奨時、子ども政策室や社会福祉課の案内送付時にも健診啓発チラシを同封し受診勧奨を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	健診の機会を保障することにより、疾病の早期発見・早期治療を行い、市民の生活習慣を改善することで、医療費の削減となるため、要医療者受診率を成果実績として掲げることは妥当である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	健診の受診率向上のため、イベント時や各事業所などへ健診受診勧奨を行っている。また、実施方法としても、様々な検診が一度で受診できる集団健診、個別健診の実施など、市民が受診しやすいように工夫している。また、健診を受け要医療と判定された人の43.8%が医療機関を受診しているため、一定の評価はできるが、さらに受診率を上げる必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30歳代の若い世代を対象にした生活習慣病予防健診は、職場等で健診を受ける機会がある人が多いことから受診者が少なく、また、健診の結果、治療が開始になる人はほとんどいない状況である。しかし、健診の結果、生活習慣の改善が必要な人は受診者の6割を占めており、健診を受けていない市民にも、同程度の割合で生活習慣の見直しや改善が必要な人がいると推測される。よって、令和2年度は生活習慣病予防健診は廃止し、30歳代などの若い世代に対し生活習慣の改善や予防などを啓発していく。</li> <li>・40歳以上の生活保護受給者(無保険者)を対象にした無保険者健診は、『生活保護制度における被保護者健康管理支援事業』に基づき、より多くの対象者が健診を受診してもらえるように、令和2年度から無料申請の手続きを省略し、個別健診受診に必要な問診票を送付していく。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	女性のためのがん検診推進事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410361	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	昭和62(1987)	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、①予防に対する知識の普及②自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。													
対象者	①子宮がん検診:20歳以上 ②乳がん検診:40歳以上											対象者数	①16,680 ②14,543	単位あたりコスト
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )													
委託先・実施主体等	京都府医師会・福知山医師会・京都予防医学センター													
事業概要 (箇条書き)	・子宮頸がん:膣細胞診、組織診 ・乳がん:マンモグラフィ検診 ・対象者に費用無料クーポン券、受診勧奨文送付 (実施方法)【集団】保健福祉センターや地域公民館(事前申込み制) 【個別】市内の委託医療機関(子宮がんは府内の委託医療機関) 検診自己負担金:子宮がん検診-700円 乳がん検診-40歳代1,000円、50歳以上700円 (*無料制度あり)  利用特財 特財名称:乳がん検診自己負担金 種類:雑入 実績金額:215千円 決算付属資料 44頁 特財名称:子宮がん検診自己負担金 種類:雑入 実績金額:254千円 決算付属資料 44頁													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容											
	賃金(臨時職員)	333	検診の結果入力事務、説明書の印刷事務											
	需用費	506	説明用紙、問診票券結果票印刷代、乳がんフィルム袋											
	役務費(郵送料)	398	集団検診の申込者の案内、検査結果・精密検査未受診勧奨通知											
	委託料	29,831	集団検診(検診業者への支払い)・個別検診(医療機関への支払い)											
	負担金補助及び交付金・扶助費	22	子宮頸がん検診管理システム改修費負担金、償還払い											

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	34,255	33,462	24,185	22,151				
	② 補正予算	△ 4,005	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①~③)	30,250	33,462	24,185	22,151				
予算財源内訳	① 一般財源	29,241	32,416	23,182	21,359				
	② 国支出金	335	394	402	298				
	③ 府支出金	144	177	156	125				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	530	475	445	369				
決算情報	① 流充用額	△ 325	△ 683	0	0				
	② 配当予算	29,925	32,779	0	0				
	③ 執行額	28,727	31,090	0	0				
	④ 執行率	96.0%	94.8%						
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.98/0.04	0.83 / 0.06	0.83 / 0.06	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,940	6,790	6,790	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	36,667	37,880	6,790						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	402	決算付属資料	18	頁
	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	180	決算付属資料	26	頁
	特財名称	検診案内かわら版広告収入	種類	雑入	実績金額	10	決算付属資料	44	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	がん発見人数(乳・子宮)	人		5/5・3/2	4/5・2/2	6/5・0/2	/5	・ /2
要精密検査受診率(乳・子宮)	%		100/96.7	100/100	100/100・86.4/100	/100	・ /100	100・100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	受診者数(乳)	人	1393/1500	1444/1500	1415/1500	/	1500	1500
	単位あたりコスト		21.13	19.90				
	受診者数(子宮)	人	2600/3251	2628/3251	2731/3251	/	1700	1700
単位あたりコスト		11.32	10.90					



## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	正しい知識の普及を含めた検診受診啓発をすることで、市民自らが、健康に関する意識を高め、自立した生活を送るために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	検診受診方法として、集団検診と個別検診(医療機関)があり、受診者が選択できる体制をとっている。また土日にも検診を受診できるよう日程を調整している。子宮がん検診では、市内以外の府内指定医療機関でも受診できるようになっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	検診を受け、早期発見・治療できることは市民にとっても健康で自立した生活につながり、本市にとっても医療費削減となるため、がん発見人数、精密検査受診率を成果実績としている点は妥当と考える。子宮がん検診においては、府下全体統一した流れで実施しているが、精密検査受診勧奨は独自で実施しており、子宮がん・乳がんともに精密検査受診率100%を目標に努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康日本21に目標項目として「がん検診の受診率向上」が掲げられている。また市民アンケート結果等より福知山市健康増進画の中間見直しを行い、重点項目として【検(健)診】を掲げている。様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日実施など、市民が受診しやすい工夫している。</li> <li>乳がん検診については、がん発見率は京都府や全国より高い。毎年がん発見者があり、早期発見・治療につながっていることは、一定の評価ができる。3次読影制度や症例検討会の実施が、高い精度管理を維持していると考えられる。</li> <li>子宮がん検診については、令和元年度はがん発見者はいなかったが、過去5年間に6人のがんが見つかり、その他婦人科疾患等も検診で見つかり治療につながっていることは、一定の評価ができる。また、特に若い世代に対して、検診を若いうちから定期的を受診することが大切であると伝えるため、目にとまるようなポスターやチラシの作成に取り組むたい。</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>今後も受診勧奨啓発をし、受診者数増加と継続受診、がんの早期発見・治療につなげ、医療費削減並びにがん死亡者数減少に努める。乳がん検診は2年に1回の隔年検診のため、定期的な自己検診が早期発見につながり大切となる。検診の受診勧奨とともに自己検診の啓発を引き続き行う。</p> <p>また、特に若い世代に対して、検診を若いうちから定期的を受診することが大切であると伝えるため、目にとまるようなポスターやチラシの作成に取り組むたい。</p> <p>令和2年度より、国の指針に合わせ、子宮がん検診においても2年に1回の隔年受診とする。また両検診の対象年齢を年度末年齢が奇数の人に変更する。乳がん検診に関しては、検診対象年齢の変更に伴い特例措置を設け、年度末年齢が偶数で受診間隔が2年以上空く場合は、保健福祉センターで確認後受診できる。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	健康増進計画推進事業												
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課					所属長	藤澤 稔					
会計情報	事業コード	410363	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する									
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市健康増進計画							
根拠法令等	健康増進法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	なし												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市健康増進計画に基づき、市民が健康づくりに主体的に取り組み、健康活動が、市民運動となるよう、様々な取り組みを実施し、すべての市民が健康でいきいきとした生活を送ることを目的とする。												
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.2
-----	-----	------	--------	----------	-----

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

委託先・実施主体等	-												
-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働事業の創造と推進</li> <li>健康イベントの実施、毎月ウォーキングの実施</li> <li>人材の育成</li> <li>健康活動サポーターの拡充と自主活動の支援</li> <li>健康推進に関する啓発</li> </ul>												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
		報酬、報償費	147	協議会委員報酬、講師謝礼								
	賃金	1,184	臨時職員賃金									
	需用費、備品購入費	755	消耗品費、印刷製本費、備品購入費									
	役務費	299	郵送料									
	負担金補助及び交付金	140	活動交付金									

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,303	2,697	2,475	2,580
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	4,303	2,697	2,475	2,580	
予算財源内訳	① 一般財源	4,303	2,697	2,475	2,580
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	4,303	2,697	0	0
	③ 執行額	3,567	2,524	0	0
	④ 執行率	82.9%	93.6%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	2.1/0.2	1.63 / 0.28	1.63 / 0.28	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	17,300	13,740	13,740	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,867	16,264	13,740		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		ウォーキングに取り組む人数	人	818/20000	755/20000	939 / 20000	/ 20000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	健康活動ポイント事業応募者	人	1468/2000	1822/2000	1,631 / 2000	/ 2000	2000
	単位あたりコスト		2.77	2.00	1.55		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	市民へ健康に関する正しい知識の普及と認識を持ってもらうことは、医療費の削減の観点からも必要性が高いことである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	市内の事業所を巻き込み実施している事業もあり、効率性も高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	△	市民の健康維持、増進及び健康管理を認識してもらうために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>健康活動が市民運動となるべく、事業を展開。指標にはウォーキングをあげているが、メッツ(身体活動強度)換算等により様々な運動も取り込むこととし、目標達成に向け実施している。また、歩数の増加に繋げるために、まずは自身の歩数を把握することを目的に各ウォーキングイベントにて歩数計の使用を促した。</p> <p>インセンティブ事業である健康活動ポイント事業の応募者数は、1,631人であり、応募の内訳としては、個人の複数回の応募が多く、継続した健康づくりに役立っている。今後もより多くの方の健康づくりのきっかけとなるよう、新規層や働き世代に対して啓発を進めていく。</p> <p>また、成果指標に挙げている『ウォーキングに取り組む人数』を初めとした健康増進計画における評価指標については、令和2年度に実施する市民アンケートにより最終評価を行う。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>福知山市健康増進計画に基づく事業である。</p> <p>重点項目として挙げている「身体活動・運動」におけるウォーキング事業やインセンティブ事業である「健康活動ポイント事業」を次年度も引き続き実施する。</p> <p>令和2年度は、本計画の最終年度を迎えるため、計画の推進と平行し、市民アンケートを行い、最終評価や第2次計画の策定も実施する。(最終評価及び第2次計画策定は臨時事業として計上)</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性						
事業名	旧医師会館解体撤去事業					
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課			所属長	藤澤 稔
会計情報	事業コード	410386	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
					目	01 保健衛生総務費
					会計	01 一般会計
					決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する		
計画期間	開始年度	平成31年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	
根拠法令等	福知山市公共施設マネジメント基本計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合					
関連事業						

II 事業基礎情報						
事業目的 (あるべき姿)	福知山医師会から寄贈された旧福知山医師会館を解体撤去し、その土地を有効活用する。					
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
委託先・実施主体等						
事業概要 (簡条書き)	令和元年度:工事に伴う設計業務 令和2年度に繰越					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容			
	支出なし					

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	2,200	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	△ 2,860	2,860	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	2,860	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	△ 2,860	0	0	0	0	0	0
小計(①~③)	0	△ 660	2,860	0	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	△ 60	360	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	△ 600	2,500	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	660	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ 執行額	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)		0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	② 概算人件費		560	560	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	560	560	0	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		単位あたりコスト			/	/	
		単位あたりコスト			/	/	

**V 事業担当部署評価**

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき効率的な事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき有効的な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和元年度においては、解体撤去工事に伴う設計業務を発注したが業務期間不足により令和2年度に繰越した。福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき事業を実施している。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき施設管理を行っていく。		

**VI 他部署評価**

事当事業評価	
事後事業評価	

**VII 評価をふまえた次年度事業方針**

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

**VIII 予算反映結果**

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合    (統合事業名: ) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合    (統合先事業名: 旧医師会館跡地整備事業 )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性						
事業名	公衆浴場補助事業					
事業担当	所属	市民総務部 生活環境課			所属長	井上 和成
会計情報	事業コード	520117	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
					目	03 環境衛生費
					会計	01 一般会計
						決算付属資料
						頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する		
計画期間	開始年度	昭和57年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	
根拠法令等	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合					
関連事業						

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	公衆衛生の向上に寄与する施設である公衆浴場に対して支援することで、市民の公衆浴場利用の機会の確保を図る。		
対象者	市内公衆浴場 <span style="float:right">対象者数 0 単位あたりコスト</span>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
委託先・実施主体等	公衆浴場を市内で経営している者 市内公衆浴場への補助		
事業概要 (簡条書き)			
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容

III 予算執行状況							
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	195	150	0	0	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	
小計(①~③)	195	150	0	0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	195	150	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	195	150	0	0	0	0
	③ 執行額	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率	0.0%	0.0%				
人概工算	① 従事職員数 (定職員/嘱託職員)	0.03/0	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	240	0	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	240	0	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市内公衆浴場数	件	1	1	0 / 0	/ 0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	公衆浴場利用者数	人	不明	不明	0 / 0	/ 0	
	単位あたりコスト		0.00	0.00		0.00	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	○ 予期せぬ災害時の利用や街のコミュニケーションの場としての利用など公衆浴場の健全な運営を確保する意義は大きいものがある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	○ 経営支援を行うことで、公衆衛生の向上及び住民の福祉に寄与するとともに公衆浴場の健全な運営を確保される。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	○ 公衆浴場の健全な運営が確保され、市民の公衆浴場利用の機会の確保に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	公衆浴場を運営していくための支援ができるよう準備することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成29年度以降、補助金申請はないが、公衆浴場は公衆衛生の向上に寄与する施設であり、経営を維持するためには支援が必要であるため継続して支援を行えるようにする。		

## VI 他部署評価

事中事業評価	
事後事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	補助対象事業者の廃業により、令和元年度末で休止済。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合              (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合              (統合先事業名: )
--------	---



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート(R2新規事業)

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	第2次福知山市健康増進計画策定事業						
事業担当	所属	福祉保健部 健康医療課			所属長	藤澤 稔	
会計情報	事業コード	410388	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	
				目	04 保健指導費	会計	01 一般会計
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する			
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市健康増進計画	
根拠法令等	健康増進法						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業	健康増進計画推進事業						

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	(第1次)福知山市健康増進計画の最終評価を行い、市民一人ひとりが自ら健康づくりに取組むまちの実現に向けて健康づくりの指針となる第2次福知山市健康増進計画を策定する。					
対象者	全市民	対象者数	80,000	単位あたりコスト	54.5	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
委託先・実施主体等(見込含む)	株式会社オカムラ、株式会社タカギ印刷、株式会社サンワコン					
事業概要 (箇条書き)	(第1次)福知山市健康増進計画の最終評価および第2次福知山市健康増進計画の策定 ・市民の健康づくりの現状を把握するため、市民アンケートの実施および分析。 ・市民アンケートの結果から福知山市健康増進計画の最終評価。 ・データ分析結果より市の課題抽出とその対応策の設定。 ・第2次福知山市健康増進計画の策定					
主な支出に係る 業務内容と経費 (予算額)	支出に係る主な費目	支出予算額	主な業務内容			
	報酬・職員手当等	552	臨時職員報酬・職員手当等、健康づくり推進協議会委員報酬			
	需用費	616	市民アンケート印刷、お礼状兼督促状印刷			
	役務費	1,989	市民アンケート発送・返信、お礼状兼督促状発送			
	委託料	1,045	市民アンケートデータ入力			
	使用料及び賃借料、備品購入費	160	健康づくり推進協議会委員駐車場料金、臨時職員用仮想端末購入			

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)
予算情報	① 当初予算		4,362	617
	② 補正予算		0	0
	③ 繰越予算		0	0
	前年度繰越		0	0
	次年度繰越		0	0
小計(①~③)			4,362	617
予算財源内訳	① 一般財源		2,181	617
	② 国支出金		0	0
	③ 府支出金		2,181	0
	④ 地方債		0	0
	⑤ その他特財		0	0

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2(中間実績)	最終目標
	改善した評価項目数	項目		/	/	/	17 / 30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	アンケート回収数	通	/	/	/	4,046 / 3,800	3,800
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	本市の現状を踏まえた健康づくりの指針を策定することは、より効果的に健康増進を図る上で必要性の高いことである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	データ分析の精度を上げるために、年代別に回収率に基づいた発送数を設定し、十分な標本数が確保できるよう工夫した。お礼状兼督促状を送付し、回収率の増加を図った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	アンケートは、目標であった3,800通を超える4,046通回収することができ、より多くの市民の健康づくりに関する情報を収集することができ、有効性の高い取組であった。
当年度開始後、上半期での取組状況	<p>市民アンケートについて 令和2年4月10日時点で本市に住民票登録のある20歳以上の男女8,000人を無作為抽出して実施した。(調査期間:4/21~5/14) 有効回答数:4,046人(50.58%) アンケートデータの入力、委託し実施した。 『栄養・食生活』『身体活動・運動』『健(検)診』『たばこ』『アルコール』『歯の健康』『こころの健康』の7つの分野について、現計画の最終評価、次期計画の課題設定を行った。</p>		
当年度開始後、上半期が経過して生じた新たな課題等	<p>第2次計画については、令和3年3月に策定予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、本計画においてもwithコロナ時代の『健康の維持および増進』という視点で健康づくりを考える必要があることから、策定期を令和3年度に延期する。 withコロナ時代の健康づくりについては、専門職の方々の意見を取り入れて策定する必要がある。 計画策定を令和3年度に延期する場合、令和3年度の事業実施に当たっては今回のアンケート結果等を踏まえて行う必要がある。 また、アンケート結果以外で評価できる項目についても検討している。</p>		
下半期及び次年度への改革・改善案	<p>withコロナ時代の『健康の維持および増進』について、本市の健康づくりの方針などについて協議等をお世話になっている『健康づくり推進協議会委員』を始めとした専門職の方々の意見も取り入れながら、コロナ禍による社会変革に対応した計画となるよう内容を精査し、第2次計画を策定する予定である。 なお、策定に際して市議会の議決承認を要するかどうか、議会事務局と協議中である。</p>		

## VI 他部署評価

事中事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート実施が5月で終了していることは早期着手といえる。ただし、分析結果をみると調査44項目のうち14項目が評価不能、また残30項目の達成判定が芳しくなく(数値が過去の取組で目標から遠ざかったC判定が13項目~43.3%)策定をR03に延ばすならその期間を追加調査や第2次計画で掲げる指標、達成手法の具体性を磨く時間として有効に活かすことが求められる。</li> <li>他事業(健康増進計画推進事業)との統合についても検討されたい。</li> <li>事務事業評価シートに、アンケート回答率を上げるための工夫なども記載し、市民等の取組の理解が進むように取り組みされたい。</li> <li>アンケートの回収率を高めるための取組は大いに評価できる。</li> </ul>
--------	---

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	<p>今年度を実施したアンケートやKDBなどの他のデータの分析結果に基づき、第2次福知山市健康増進計画の策定を行う。 withコロナ時代の『健康の維持および増進』について、本市の健康づくりの方針などについて協議等をお世話になっている『健康づくり推進協議会委員』を始めとした専門職の方々の意見も取り入れながら、コロナ禍による社会変革に対応した計画となるよう内容を精査する。 本計画策定事業は令和3年度で終了。</p>
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )